



令和元年11月24日発行
はすねだこども園子育て支援
未就園クラブ

(担当) 深川 友紀子

◎午前6時の時点で気象警報により
休園の場合、活動はありません。

朝夕は寒さも増してきましたが、日中はぽかぽかとした陽気を感じられる日もあり、戸外遊びが楽しい時期です。いよいよ今年も残すところ1カ月となりました。今年はコロナウイルス感染症の関係で、我慢の多い年となりましたが、これもお家時間を有意義に過ごす機会と前向きにとらえていきたいですね。来年もお会い出来ることを楽しみにしています！

12月の予定…園庭開放〈雨天中止〉

◆活動日時 12月15日(火)・12月18日(金)
午前10時～午前11時30分まで はすねだこども園 運動場

◆持ち物 会員証・帽子・水筒・着替えなど

※園内での活動は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止します。

※15日に予定していたはすねだ広場は園庭開放となります。

絵本の読みがたり

絵本は、子どもが一番に出会う本です。子どもは文字ではなく絵を見て色々考えます。そして、読んでくれる人の言葉によって絵と言葉が一体となり、イメージしている絵が動き出すのです。近年、テレビゲームやスマートフォンの普及により、家事をする間、寝る前等、子育ての一部にテレビなど使用する場面も多くなってきているかと思えます。テレビ等から流れる音や画像は、語りかけられる言葉よりも、刺激が強いそうです。そして、一方的に情報が入り込んでくるので、自分の中でイメージをしたり、「今の何だろう？」と疑問に思ったことも聞けずに流れていき、イメージする機会が少なくなってしまうのです。なので、一日のうちに10分でも、テレビを消し、ゆっくりと親子で絵本を読む時間を設け、スキンシップの時間に出来ると良いですね。

読むときのポイント

○一方的に読まない…子どもの反応を見ながら、子どもに合わせて読みましょう。シーンによって読むテンポを変えることも大切です。

○声色を変えずぎない…絵本で大切なことは、絵を見て想像を膨らませることなので、極端に声色を変えてイメージを操作しないように気を付けましょう。

○適度に「間」をとる…「間」とは、語り手が今語ったことを、聞いている側が頭のスクリーンに絵を描いて(イメージして)いる時間であり、また、次の展開を予測する時間でもあります。子どもの想像をかきたてる大切な時間なので、適度に間をとることが大切です。

おすすめの絵本

☆うんちがぼとん



まあくんがおばあちゃんからもらった大きなプレゼントは、「おまる」。すぐにはおまるでうんちが出来ず、失敗したり、おむつに戻ったりしながら「出たかな?」「まだまだ」とくり返すうちに、「出た!」。子どものペースで楽しくおむつ外しが出来そうな一冊です。

☆おっぱい



ぞうさんも、ねずみさんも、ゴリラさんも、ぶたさんも、みんなお母さんのおっぱいをたくさん飲んで元気に育ちます。それぞれの動物のおっぱいと、僕の大好きなおっぱい、そして、おっぱいを飲んでいた子どもの成長を描いています。おっぱいを卒業してもまだおっぱいに憧れがある2歳ごろ。この絵本を読んでもらうことで安心できるでしょう。

☆おんなじ おんなじ



子ブタのぶうと子ウサギのぴよんは、くつも帽子もズボンも、持っているおもちゃや出来てしまったたんこぶまで同じです。「おんなじ おんなじ」という、繰り返しが楽しめます。

絵本の読みがたりが子どもに与える影響

- ことばを聴く力が育つ
- 大好きな人が語りかけてくれる幸せがある
- ページをめくる楽しみや絵を見る喜びがある
- 疑似体験がたくさんできる